111 たしざん

11101 ◇第1時の授業　p60, 61, p62

(1) ・60ページを開いたら, 教科書を持って立ちます。
　　・追い読みをします(1文まで)。　※追い読み→1人読み
(2) ・みんなで、どんぐり拾いをしたのですね。
　　・一番上の写真を見ます。
　　・黒っぽい服を着た男の子がだいじゅろうさんです。
　　「ぼくは3こ拾ったよ」と言っています。
　　・だいじゅろうさんのどんぐりを指します(さす)。下に「3」と書く。
　　・おとなりは、りのさんです。
　　・「わたしは2こ拾ったよ」と言っています。指します(さす)。
　　下に「2」と書く。
　　・りのさんは「あわせて何こかな」とも言っています。
　　・あわせるので何算ですか(たし算)。下に「＋」と書きます。
　　・式ができました。下に、式と答えを書きます。
　　・みんなで言います(式は3＋2。答えは5こです)。
(3) ・その下の写真を見ます。
　　女の子はまなみさん、男の子はたかともさんです。
　　・まなみさんは「10こ拾ったよ」と言っています。下に「10」と書く。
　　・おとなりのたかともさんは「ぼくは6こだよ」と言っています。
　　下に「6」と書く。
　　・10こと6こをあわせます。たし算ですね。下に「＋」と書きます。
　　・式ができました。下に式と答えを書きます。
　　・みんなで言います(式は10＋6。答えは16こです)。
(4) ・その下の写真を見ます。男の子はりおさん、女の子はみみさんです。
　　・りおさんは「12こ拾ったよ」と言っています。下に「12」と書く。
　　・おとなりのみみさんは「わたしは5こだよ」と言っています。
　　下に「5」と書く。
　　・12こと5こをあわせます。たし算ですね。「＋」と書きます。
　　・式ができました。下に式と答えを書きます。
　　・みんなで言います(式は12＋5。答えは17こです)。
　　※12＋5と「12のさくらんぼ図」を板書
(5) ・12＋5の計算のしかたを復習します。
　　・12の所に「12のさくらんぼ図」をかきます。
　　・12を何と何にしますか(10と2)。「10の実」と「2の実」をかきます。
　　・「2の実」と「＋5」をバナナ囲みします。2＋5は(7)。脇に書きます。
　　・10と7を丸囲み(⑩⑦)。答えは17でした。
　　・説明練習をします。　※説明台紙掲示
　　・(　)を10と(　)にわけます。
　　・10はそのままで, (　)に(　)をたして(　)。
　　・10と(　)で, 答えは(　)です。
　　(12を10と2に分けます。10はそのままで, 2に5をたして7。10と7で, 答えは17です)。　※追い読み→全員読み→1人読み
(6) ・次のページ。Ａさん、□1を読んで下さい(読む)。
　　・上の写真を見ます。男の子と女の子のどんぐりを見ます。
　　・女の子はことみさん、男の子はけいとさんです。

・ことみさんは、どんぐりを何こ拾いましたか(9こ)。下に「9」と書く。
「9こひろったよ」と言っています。問題文にも書いてあります。囲む。
・けいとさんは、どんぐりを何こ拾いましたか(4こ)。下に「4」と書く。
「4こ拾ったよ」と言っています。問題文にも書いてあります。囲む。
・聞かれていることは何ですか(あわせて何こ拾いましたか)。
下線を引きます。
・あわせる問題です。何算ですか(たし算)。下に「＋」を書く。
・式ができました。その下に、式だけを書きます(9＋4)。
(7)・あみさんが言っています。答えは10より大きくなりますね。
・りくさんが言っています「数えればわかるけど」
・では、ことみさんとけいとさんの机のどんぐりを数えます。
・まず、先生の画面を見ます。みんなで数えます。
・「斜め線数え」をします。1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10。ストップ。
・10になったら何をするのでしたか(10囲み)。どんぐり10こを囲みます。
・のこりのどんぐりを数えます。1, 2, 3で3こですね。
・10と3でいくつですか(13)。
(8)・自分で「斜め線数え」をします。10になったらやめます(数える)。
・ことみさんのどんぐり全部と、けいとさんのどんぐり1こ囲みます。
・残りを「斜め線数え」します。全部で何こですか(13こ)。
(9)・下のブロックの所を見ます。
・「9＋4の計算のしかたを考えましょう」とあります。
・まず、先生の画面を見ます。みんなで数えます。
・こちら側(左側)のブロックは、ことみさんの分です。9こです。
・こちら側(右側)のブロックは、けいとさんの分です。4こです。
・1から順に数えます。1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10。ストップ。
・10になったから「10囲み」します。のこりを数えます。1, 2, 3。
・10と3でいくつですか(13)。
※1本のブロックケースとバラブロック3こを掲示する
(10)・9と4のブロックを見ます。
・10囲みした中の(ICT)ここの空いている所に丸囲みします(囲む)。
・ここにブロックを1こ入れれば10になりますね。
・では、4のブロックから1こ移します。
※ブロック1こに×印、空いている所へ移動の矢印
・同じように、矢印をかきます(×と矢印をかく)。
・そうすると10と(指す)3で(指す)13になります。
(11)・こうたさんが言っています「10といくつにするには…」。
・説明します。追い読みをします。
「9＋4を」(同)「10といくつにするには」(同)
「4の中の1こをケースに移します」(同)「10と3で13です」(同)。
(12)・p62を開きます。今の復習です。
・下に、ブロックを移している図があります。
・まず、一番上の段のブロック図を見ます。
・しほさんの吹き出しを読みます。「9はあと1で10だから」(同)。
・ケースの脇に「9」、右側のブロック4この上側に「4」と書きます。
・「4を1と3に分けます」(同)。ブロックの下に「1」と「3」を書きます。
・その下のブロック図を見ます。
・ケースの、あと1つ空いている所に丸をつけます(丸印)。
・そこが空いているので、ブロックを1こ移しています。
・「9に1をたすと10になります」(同)。

・その下のブロック図を見ます。10のケースは全部埋まりました。
・ケースの脇に「10」と書きます。
・右側のブロックは、4こから3こになりました。上側に「3」と書きます。
「10と3で13です」(同)。
(13) ・その下の「9＋4の計算のしかた」を見ます。
右側の、「4のさくらんぼ図」入りの式を見ながら読みます。
・①を読みます。「9はあと1で10」(同)。
「4のさくらんぼ図」に「1の実」があります。指します。
・②を読みます。「4を1と3に分ける」(同)。
「4」が「1の実」と「3の実」に分かれた図を2本指で指します。
・③を読みます。「9に1をたすと10」(同)。
9と1をバナナ囲みします。脇に「10」と書きます(バナナ囲み、10)。
・④を読みます。「10と3で13」(同)。
10と3を丸囲みして⑩と③にします(⑩③)。そして答えは13。
(14) ・追い読みします。　※該当部分を指しながら
「9はあと1で10」(同)「4を1と3に分ける」(同)「9に1をたすと10」(同)
「10と3で13」(同)。　※追い読み→全員読み→1人読み
(15) ・自分でブロックを動かしてみます。ブロックを出します(作業)。
・上のしほさんの最初のように並べます。
※机上部に教科書p62, 机下部にブロック9＋4
・「9はあと1で10」(同)。　※ケースの空いている所を指す
・「4を1と3に分ける」(同)。　※4のブロックを1と3に分ける
・「9に1をたすと10」(同)。　※ブロック1こをケースに移す
・「10と3で13」(同)。　※10と3を指さす
(16) ・先生が説明します。
・みんなは指をさしたりブロックを動かしたりします。
・「9はあと1で10」…ケースの空いている所を指しているかな。
・「4を1と3に分ける」…1と3に分けましたか。
・「9に1をたすと10」…1のブロックをケースに移しましたか。
・「10と3で13」…10と3、2本指で指せましたか。
・スピードでもう一度やります。9＋4のブロックにします。　※同様
・自分で言いながら、9＋4のブロックを動かします(作業)。
(17) ・練習問題に入ります。
・Ｂさん、△2を読んで下さい(読む)。
・9＋3のブロックを並べます。
・「9はあと1で10」(同)。ケースの空いている所を指したかな。
・「3を1と2に分ける」(同)。3のブロックを1と2に分けましたか。
・「9に1をたすと10」(同)。ブロックを1こケースに移しましたか。
・「10と2で12」(同)。それぞれを指さして12と言います。

★ポイント(11101)

(1)ブロック図での操作(9＋4)

①「9＋4の計算をします」→ケースに9こ。脇にブロック4こ並べる。
②「9はあと1で10」　→ケースの空いている所を指す。
③「4を1と3に分ける」　→脇のブロック4こを、1こと3こに分ける。
④「9に1をたすと10」　→ブロック1こを、ケースの空いている所に移す。
⑤「10と3で13」　→それぞれを指さして13と言う。

(2)さくらんぼ図での操作(9＋4＝□)

①「9＋4の計算をします」→「9＋4＝□」の式を書く。
　小さい方の「4」に、さくらんぼ図の枝をかく。
②「9はあと1で10」　→枝の左側に「1」を書く。
③「4を1と3に分ける」　→枝の右側に「3」を書く。
④「9に1をたすと10」　→「9」と「1」をバナナ囲み。
　バナナ囲みの脇に「10」を書く。
⑤「10と3で13」　→数を丸囲みする。⑩③。
　□に13を書く。

(3)「繰り上がりありのたし算」の基本説明

《おしゃべり》
(1)9はあと1で10。
(2)4を1と3に分けます。
(3)9に1をたして10。
(4)10と3で，答えは13です。

11102 ◇第2時の授業 p63

(1)・63ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
・黒板の所を見ます。追い読みをします。
「しき　9＋4」(同)「計算のしかた」(同)「9はあと1で10」(同)
「4を1と3にわける」(同)「9に1をたすと10」(同)「10と3で13」(同)
「9＋4は13」(同)「こたえ　13こ」(同)。　※追い読み→全員読み
(2)・昨日は、9+4の計算を、教科書の絵を使ったりブロックを使ったりして答えを出しました。
・今日は、ノートを使って計算するやり方を勉強します。
(3)・下に、りくさんのノートとあみさんのノートがあります。
・まず、りくさんのノートを見ます。だんご図を使っています。
・りくさんは、だんご図を1列でかいています。
・りくさんの9のだんごは少しゴチャゴチャしています。
なので、1マスに1こずつきれいにかくかきかたをします。
・数図のように2段にします。
(4)・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・9＋4の9のだんご図(赤丸)をかきます(ず　◎◎◎◎◎
◎◎◎◎)。
・9＋4の4のだんご図(黒丸)をかきます(ず　◎◎◎◎◎　○○○○
◎◎◎◎)。
・9のここが空いています。○の1つを×にして移します。
(ず　◎◎◎◎◎　○○○×
◎◎◎◎○)。
★4の数図が3の数図に変わったことが分かるようにします。
そのために、おしりの○を×にして移します。
・次の行に式を書きます(しき　9＋4＝13)。
・次の行に答えを書きます(こたえ　13こ)。
※9＋4ノート全員完了
(5)・次に、あみさんのノートのまねをします。さくらんぼ図を使います。
・「しき」と書いて、1マス空けて「9＋4」と書きます(書く)。
・「4のさくらんぼ図」を書きます。「1の実」と「3の実」
★どのようにして「3の実」を出しましたか(4－1)。
実の部分がわからないときは、ひき算をするのでしたね。
・「9に1をたすと10」(同)。9と1をバナナ囲みして「10」と書きます。
・「10と3で13」(同)。丸囲みをします。⑩と③。
・「こたえ　13こ」を書きます。　※先生チェック
・合格した人は、9＋3を、同じようにさくらんぼ図にして書きます。
※9＋4ノート全員完了
(6)・20玉そろばんを使って確かめます。
(7)・スキル2番をやります。　※スキルシステム

★ポイント(11102)

(1)だんご図(数図)での操作

◎◎◎◎◎　　○○○○
◎◎◎◎

↓

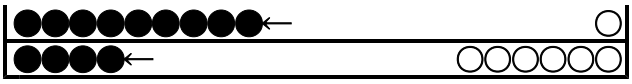
◎◎◎◎◎　　○○○×
◎◎◎◎○

①「9＋4の計算をします」→9→◎(赤丸)を9こかく。
　4→○(黒丸)を4こかく。
②「9はあと1で10」　→空白を指す
③「4を1と3に分ける」　→4のおしり1つに×印。
④「9に1をたすと10」　→空白に○をうめる。
　移動の印(矢印)をかく。
⑤「10と3で13」　→

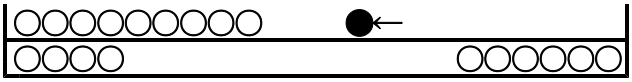
(2)さくらんぼ図での操作(9＋4＝□)
①「9＋4の計算をします」→「9＋4＝□」の式を書く。
　小さい方の「4」に、さくらんぼ図の枝をかく。
②「9はあと1で10」　→枝の左側に「1」を書く。
③「4を1と3に分ける」　→枝の右側に「3」を書く。
④「9に1をたすと10」　→「9」と「1」をバナナ囲み。
　バナナ囲みの脇に「10」を書く。
⑤「10と3で13」　→数を丸囲みする。⑩③。
　□に13を書く。

(3)20玉そろばんでの操作

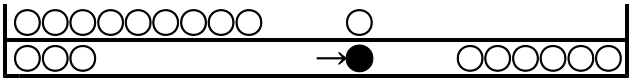
「9＋4の計算」



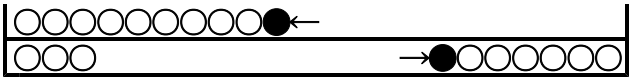
「9はあと1で10」



「4を1と3に分けます」



「こうかん！」
「答えは13です」



(T1)百玉そろばん。	＊最初の形にする	(C1)百玉そろばん。
(T2)９＋４の計算。	＊左端に移動	(C2)９＋４の計算。
(T3)９はあと１で10。		(C3)９はあと１で10。
	＊一段目の1を中央移動	
(T4)４を１と３に分けます。		(C4)４を１と３に分けます。
	＊二段目の1を中央揃え	
(T5)こうかん	＊双方移動	(C5)こうかん
(T6)答えは		(C6)13です。

11103 ◇第3時の授業 p64

※ブロック→だんご図→さくらんぼ図→たし算の歌→百玉そろばん

(1)・62ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
(2)・「9＋4の計算のしかた」を追い読みをします。※追い読み→1人読み
(3)・p64を見ます。
・Ａさん、□3をを読んで下さい(読む)。下のブロックを見ます。
・こちら側(左側)のブロックは8こです。
・こちら側(右側)のブロックは3こです。
・左側から順に「斜め線数え」をします。1,2,…,9,10。ストップ。
・10になったから「10囲み」します。のこりは1こ。
・10と1でいくつですか(11)。
(4)・「10囲み」した中の(ICT)ここの空いている所に丸囲みします(囲む)。
・ここにブロックを2こ入れれば10になりますね。
・では、3のブロックから2こ移します。　※移動の矢印を板書する
・矢印をかきます(矢印をかく)。
・このブロックは移ってなくなるので、×をかきます(×)。
・そうすると10と1で11になりますね。　※指さす
(5)・みささきさんが言っています「10といくつにするには…」。
何をすればいいかというと(3のブロックから、2こをケースに移す)。
・説明します。追い読みをします。
「8＋3を」(同)「10といくつにするには」(同)
「3の中の2こをケースに移します」(同)「10と1で11です」(同)。
(6)・その下の青い所のブロック図を見ます。今やったことの復習です。
・はるとさんが言っています。「8はあと赤四角で10だから」。
・ケースの脇に「8」、右側のブロック3この上側に「3」と書きます。
・「3を2と1に分けます」(同)。ブロックの下に「2」と「1」を書きます。
・その下のブロック図を見ます。
・ケースの、あと2つ空いている所に丸をつけます(丸印)。
・そこが空いているので、ブロックを2こ移しています。
・「8に2をたすと10になります」(同)。
・その下のブロック図を見ます。10のケースは全部埋まりました。
・ケースの脇に「10」と書きます。
・右側のブロックは、3こから1こになりました。上側に「1」と書きます。
「10と1で11です」(同)。
(7)・右側の、「3のさくらんぼ図」入りの式を見ながら読みます。
・一番上のさくらんぼ図を見ます。
・「3のさくらんぼ図」に「2の実」があります。指します。
「8はあと2で10」(同)。
・「3」が「2の実」と「1の実」に分かれた図を2本指で指します。
「3を2と1に分けます」(同)。
・その下のさくらんぼ図を見ます。
・8と2をバナナ囲みして、脇に「10」と書いています。指します。
・「8に2をたすと10になります」(同)。
・その下のさくらんぼ図を見ます。
・10と1をたして答えを11にしています。
「10と1で11です」(同)。
(8)・ノートにさくらんぼ図をかきながら説明します。　※説明台紙掲示
①(　)はあと(　)で10。

②　　(　)を(　)と(　)にわけます。
③(　)に　　(　)をたして10。
④10と　　(　)で，答えは(　)です。

・「8はあと2で10」(同)。「＋」の下に、1マス空けて「2の実」を書く(ICT)。
・「3を2と1に分けます」(同)。「3のさくらんぼ図」と「1の実」を書く。
・「8に2をたして10」(同)。8と「2の実」をバナナ囲みして「10」と書く。
・「10と1で答えは11です」(同)。丸囲み(⑩①)。□に答えの11を書く。
・説明練習をします。
(8はあと2で10。3を2と1に分けます。8に2をたして10。10と1で，
答えは11です)。　※追い読み→全員読み→1人読み

(9)・次は、だんご図をかいて答えを出します。
・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・8＋3の8のだんご図(赤丸)をかきます(ず　◎◎◎◎◎
◎◎◎)。
・8＋3の3のだんご図(黒丸)をかきます(ず　◎◎◎◎◎　　○○○
◎◎◎)。
・8のここが空いています。○の2つを×にして移します。
(ず　◎◎◎◎◎　　○××)。
◎◎◎○○

★3の数図が1の数図に変わったことが分かるようにします。
そのために、おしりの○を×にして移します。
・次の行に式を書きます(しき　8＋3＝11)。　※8＋3ノート全員完了

(10)・先生問題です。8＋5をさくらんぼ図で解きます(作業)。
・ノートに「8＋5＝□」と書きます。
・答え合わせをします。
・「8はあと2で10」(同)。「＋」の下に1マス空けて「2の実」を書いたか。
・「5を2と3に分けます」(同)。「5のさくらんぼ図」と「3の実」を書いたか。
・「8に2をたして10」(同)。8と2をバナナ囲みして「10」と書いたか。
・「10と3で答えは13です」(同)。丸囲みして、答えの13を書いたか。
・説明練習をします。
(8はあと2で10。5を2と3に分けます。8に2をたして10。10と3で，
答えは13です)。

(11)・20玉そろばんを使って確かめます。

(12)・たし算の歌を歌います。さくらんぼの式を見ながら歌います。

8はあと	2で10	5から2を	もらいます
さくらんぼを	かきまして	5は2と	3　「3！」
10と	3で	答えは13に	なりました
10と	3で	答えは13に	(休)なりました

★ポイント(11103)

(1)だんご図(数図)での操作

◎◎◎◎◎　　○○○
◎◎◎
↓
◎◎◎◎◎　　○××
◎◎◎○○

①「8＋3の計算をします」→8→◎(赤丸)を8こかく。
3→○(黒丸)を3こかく。
②「8はあと2で10」　→空白を指す
③「3を2と1に分ける」　→3のおしり2つに×印。
④「8に2をたすと10」　→空白に○をうめる。
移動の印(矢印)をかく。
⑤「10と1で11です」

(2)さくらんぼ図での操作(8＋3＝□)

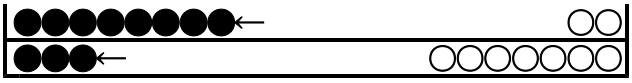
①「8＋3の計算をします」→「8＋3＝□」の式を書く。
小さい方の「3」に、さくらんぼ図の枝をかく。
②「8はあと2で10」　→枝の左側に「2」を書く。
③「3を2と1に分ける」　→枝の右側に「1」を書く。
④「8に2をたすと10」　→「8」と「2」をバナナ囲み。
バナナ囲みの脇に「10」を書く。
⑤「10と1で11です」　→数を丸囲みする。⑩①。
□に11を書く。

(3)たし算の歌での操作

8はあと	2で10	3から2を	もらいます
さくらんぼを	かきまして	3は2と	1　「1！」
10と	1で	答えは11に	なりました
10と	1で	答えは11に	(休)なりました

(4)20玉そろばんでの操作

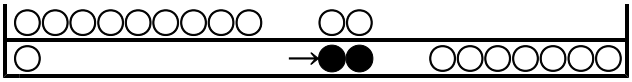
「8＋3の計算」



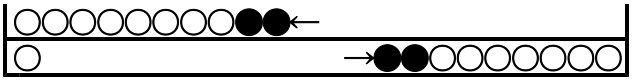
「8はあと2で10」



「3を2と1に分けます」



「こうかん！」
「答えは11です」



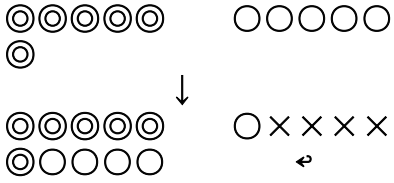
11104 ◇第4時の授業 p64, p65

(1)・64ページを開いたら，教科書を持って立ちます。　※8＋3を板書
(2)・説明台紙を見ながら追い読みをします。　※追い読み→1人読み
「8はあと2で10」(同)「3を2と1に分けます」(同)「8に2をたして10」(同)。
「10と1で11です」(同)。
(3)・Ａさん、△4を読んで下さい(読む)。ブロックを出します。
・ケースに入れた7このブロックと4このブロックを並べます。
・ケースの空いている所は何こ分ですか(3こ分)。
・そこに3こ入れれば10になりますね。
・では、4のブロックから3こ移します。
・そうすると10と(指す)1で(指す)いくつになりましたか(11)。
・ブロックをしまいます。
(4)・ノートにだんご図(数図)をかきます。
・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・7＋4のだんご図をかきます(ず　◎◎◎◎◎　○○○○)。
◎◎
・7のここが3つ空いています。○の3つを×にして移します。
(ず　◎◎◎◎◎　○×××)。
◎◎○○○　↵
・その下に式を書きます(7＋4＝11)。
(5)・次は、さくらんぼ図で解きます。
・ノートに「7＋4＝□」と書きます。　※説明台紙掲示
・「7はあと3で10」(同)。「＋」の下に、1マス空けて「3の実」を書く(ICT)。
・「4を3と1に分けます」(同)。「4のさくらんぼ図」と「1の実」を書く。
・「7に3をたして10」(同)。7と「3の実」をバナナ囲みして「10」と書く。
・「10と1で答えは11です」(同)。丸囲み(⑩①)。□に答えの11を書く。
・説明練習をします。
(7はあと3で10。4を3と1に分けます。7に3をたして10。10と1で，
答えは11です)。　※追い読み→全員読み→1人読み
・20玉そろばんを使って確かめます。
(6)・先生問題です。6＋5。
・ノートにだんご図をかきます。
・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・6＋5のだんご図をかきます(ず　◎◎◎◎◎　○○○○○)。
◎
・6のここが4つ空いています。○の4つを×にして移します。
(ず　◎◎◎◎◎　○××××)。
◎○○○○
・その下に式を書きます(6＋5＝11)。
(7)・次は、さくらんぼ図で解きます。
・ノートに「6＋5＝□」と書きます。
・「6はあと4で10」(同)。「＋」の下に、1マス空けて「4の実」を書く(ICT)。
・「5を4と1に分けます」(同)。「5のさくらんぼ図」と「1の実」を書く。
・「6に4をたして10」(同)。6と「4の実」をバナナ囲みして「10」と書く。
・「10と1で答えは11です」(同)。丸囲み(⑩①)。□に答えの11を書く。
・説明練習をします。
(6はあと4で10。5を4と1に分けます。6に4をたして10。10と1で，
答えは11です)。　※追い読み→全員読み→1人読み

・20玉そろばんを使って確かめます。
(8)・次のページ。先に△6と△7をみんなでやってから、△5をやります。
・Ａさん、△6を読んで下さい(読む)。
・おとなのペンギンは何わいますか(9わ)。囲みます。
・子どものペンギンは何わいますか(6わ)。囲みます。
・聞かれていることは何ですか(ペンギンは全部で何わいますか)。
下線を引きます。
・何算ですか(たし算)。なぜですか(あわせる問題だから)。
・式は何ですか(9＋6)。脇に書きます。
(9)・ノートに「9＋6＝□」と書きます。
・さくらんぼで解きます。終わった人は立って、説明練習をします。
(9はあと1で10。6を1と5に分けます。9と1で10。10と5で答えは
15です。問題の答えは15わです)。　　※たし算の歌を歌う
(10)・Ｂさん、△7を読んで下さい(読む)。
・めだかを何匹かっていますか(8匹)。囲みます。
・めだかを何匹もらいましたか(6匹)。囲みます。
・聞かれていることは何ですか(めだかは全部で何匹になりましたか)。
下線を引きます。
・何算ですか(たし算)。なぜですか(ふえる問題だから)。
・式は何ですか(8＋6)。脇に書きます。
(11)・ノートに「8＋6＝□」と書きます。
・さくらんぼで解きます。終わった人は立って、説明練習をします。
(8はあと2で10。6を2と4に分けます。8と2で10。10と4で答えは
14です。問題の答えは14匹です)。　　※たし算の歌を歌う
※△5の9問をプリント化して配布。①は例示する
(12)・全部で9問あります。①のように、さくらんぼにして解きます。
・20玉そろばんを使って確かめてもいいです。
・②を解いたら先生チェック。
・合格したら最後の⑨までやります。最後まで終わったら先生チェック。
(13)・スキル3番をやります。　　※スキルシステム
・スキル4番をやります。　　※スキルシステム

★ポイント(11104)

(1)だんご図(数図)での操作　※6＋5



①「6＋5の計算をします」→6→◎(赤丸)を6こかく。
5→○(黒丸)を5こかく。
②「6はあと4で10」　→空白を指す
③「5を4と1に分ける」　→5のおしり4つに×印。
④「6に4をたすと10」　→空白に○をうめる。
移動の印(矢印)をかく。
⑤「10と1で11です」

11105 ◇第5時の授業 p66

(1)・66ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
(2)・9＋3。説明台紙を見ながら追い読みをします。
※追い読み→1人読み
「9はあと1で10」(同)「3を1と2に分けます」(同)「9に1をたして10」(同)。
「10と2で答えは12です」(同)。
(3)・Ａさん、□8を読んで下さい(読む)。
・こちら側(左側)の卵は何こありますか(3こ)。上に「3」と書きます。
・こちら側(右側)の卵は何こありますか(9こ)。上に「9」と書きます。
・聞かれていることは何ですか(卵はあわせて何こですか)。下線引き。
・何算ですか(たし算)。なぜですか(あわせる問題だから)。
・式は何ですか(3＋9)。「3」と「9」の間に「＋」を書きます(書く)。
(4)・卵の下のブロックを見ます。
・こちら側が3こ、こちら側が9こあります。
・その下の図。こうたさんとあみさんがブロックを移しています。
(5)・まずこうたさんの所を見ます。
・こうたさんが言っています。「3はあと7で10だから」。
・左側のケースの脇に「3」、右側のブロック9この上側に「9」と書きます。
・「9を7と2に分けます」(同)。ブロックの下に「7」と「2」を書きます。
・ケースの、あと7つ空いている所に丸をつけます(丸印)。
・そこが空いているので、ブロックを7こ移しています。
・「3に7をたすと10になります」(同)。
・10のケースは全部埋まりました。ケースの脇に「3→10」と書きます。
・右側のブロックは、9こから2こになりました。
「10と2で12です」(同)。
(6)・次にあみさんのブロックを見ます。
・あみさんが言っています。「9の方が10に近いから」。
・あみさんは、右側の9の方をケースにしています。
・左側のブロックの上に「3」、右側のケースの下側に「9」と書きます。
・左側の「3を2と1に分けます」(同)。下に「2」と「1」を書きます。
・ケースの、あと1つ空いている所に丸をつけます(丸印)。
・そこが空いているので、ブロックを1こ移しています。
・「9に1をたすと10になります」(同)。
・10のケースは全部埋まりました。ケースの脇に「9→10」と書きます。
・右側のブロックは、3こから2こになりました。
「10と2で12です」(同)。
(7)・どちらも答えは12こになりました。
・Ｂさん、はるとさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・続けてますりんの所を読んで下さい(読む)。
・どちらかが10になればいいということです。
(8)・まず、こうたさんの考えを、ノートにだんご図(数図)にしてみます。
・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・3＋9のだんご図をかきます(ず　◎◎◎　○○○○○　○○○○)。
・3のここが7つも空いています。○の7つを×にして移します。
(ず　◎◎◎○○　○○×××　○○○○○　××××)。
・その下に式を書きます(3＋9＝12)。

(9)・次に、あみさんの考えを、ノートにだんご図にしてみます。
・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・3＋9のだんご図をかきます(ず　◎◎◎　　○○○○○)。
　　○○○○
・9のここが1つ空いています。◎の1つを×にして移します。
　　(ず　◎◎×　　○○○○○)。
　　○○○○◎
・その下に式を書きます(3＋9＝12)。
(10)・どちらの方がやりやすいですか　※自由発言
・どちらでもいいですが、数が小さい方を分けると速いですね。
(11)・次は、さくらんぼ図で解きます。あみさんの考えでかきます。
・ノートに「3＋9＝□」と書きます。
★さくらんぼを小さい方にかくやり方です。
・「9はあと1で10」(同)。「＋」の下に、1マス空けて「1の実」を書く(ICT)。
・「3を2と1に分けます」(同)。「3のさくらんぼ図」と「2の実」を書く。
・「9に1をたして10」(同)。9と「1の実」をバナナ囲みして「10」と書く。
・「10と2で答えは12です」(同)。丸囲み(⑩②)。□に答えの12を書く。
(12)・Ｃさん、はるとさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
・続けて、ますりんの所も読んで下さい(読む)。
・どちらのやり方を使ってもいいです。
・おすすめは、数が小さい方をさくらんぼにする方法です。
計算が簡単になるからです。
★そのときの合言葉です。
「小さい方にさくらんぼ」(同)「大きい方でバナナを作る」(同同同)。
(13)・説明台紙を見ながら説明練習をします。　※説明台紙掲示
(9はあと1で10。3を2と1に分けます。9に1をたして10。10と2で，答えは12です)。
・20玉そろばんを使って確かめます。
(14)・先生問題をします。さくらんぼをかいて解きます。　※数問出す
・できたら先生チェック。

★ポイント(11105)

(1)やりやすい方を分解しても良いことを知る。
※合言葉→小さい方にさくらんぼ、大きい方でバナナを作る

(2)だんご図(数図)での操作　※3＋9

◎◎◎　　○○○○○
　　○○○○
　　↓
◎◎×　　○○○○○
　↳　　○○○○◎

①「3＋9の計算をします」→3→◎(赤丸)を3こかく。
　　9→○(黒丸)を9こかく。
②「9はあと1で10」　→右側の空白を指す
③「3を1と2に分ける」　→3のおしり1つに×印。
④「9に1をたすと10」　→空白に◎をうめる。
　　移動の印(矢印)をかく。
⑤「10と1で11です」

11106 ◇第6時の授業 p67

(1)・66ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
(2)・3＋9の計算を追い読みをします。　※追い読み→1人読み
・おすすめの、数が小さい3の方をさくらんぼにします。
「小さい方にさくらんぼ」(同)「大きい方でバナナを作る」(同)。
「9はあと1で10」(同)「3を2と1に分けます」(同)「9に1をたして10」(同)
「10と2で答えは12です」(同)。
(3)・Ａさん、△9を読んで下さい(読む)。
・しほさんが言っています。「どちらを10にしようかな」。
・ブロックを出します。
・数が小さい6の方をさくらんぼにするので、7をケースに入れます。
・ケースの空いている所は何こ分ですか(3こ分)。
・そこに3こ入れれば10になりますね。
・では、6のブロックから3こ移します。
・そうすると10と3でいくつになりましたか(13)。脇に書きます。
(4)・ノートにだんご図(数図)をかきます。
・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・6＋7のだんご図をかきます(ず　◎◎◎◎◎　○○○○○)。
◎　○○
・7のここが3つ空いています。◎の3つを×にして移します。
(ず　◎◎◎××　○○○○○)。
×　○○◎◎◎
・その下に式を書きます(6＋7＝13)。
(5)・次は、さくらんぼ図で解きます。
・ノートに「6＋7＝□」と書きます。
★さくらんぼを小さい方にかくやり方です。
・「7はあと3で10」(同)。「＋」の下に、1マス空けて「3の実」を書く。
・「6を3と3に分けます」(同)。「6のさくらんぼ図」と「3の実」を書く。
・「7に3をたして10」(同)。7と「3の実」をバナナ囲みして「10」と書く。
・「10と3で答えは13です」(同)。丸囲み(⑩③)。□に答えの13を書く。
・説明台紙を見ながら説明練習。
(7はあと3で10。6を3と3に分けます。7に3をたして10。10と3で,
答えは13です)。
(6)・先に△11をみんなでやってから、△10をやります。
・Ｂさん、△11を読んで下さい(読む)。
・赤い花が何本ありますか(5本)。囲みます。
・白い花が何本ありますか(8本)。囲みます。
・聞かれていることは何ですか(花は全部で何本ありますか)。
下線を引きます。
・何算ですか(たし算)。なぜですか(あわせる問題だから)。
・式は何ですか(5＋8)。脇に書きます。
・さくらんぼで解きます。終わった人は立って、説明練習をします。
(8はあと2で10。5を3と2に分けます。8と2で10。10と3で答えは
13です。問題の答えは13本です)。　※たし算の歌を歌う
※△10の9問をプリント化して配布。①は例示する
(7)・全部で9問あります。①のように、さくらんぼにして解きます。
・20玉そろばんを使って確かめてもいいです。
・②を解いたら先生チェック。

・合格したら最後の⑨までやります。最後まで終わったら先生チェック。
(8)・スキル5番をやります。　※スキルシステム

★ポイント(11106)

(1)やりやすい方を分解しても良いことを知る。
※合言葉→小さい方にさくらんぼ、大きい方でバナナを作る

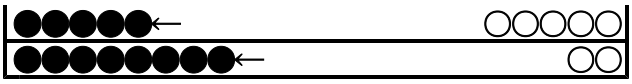
(2)さくらんぼ図での操作(5＋8＝□)
①「5＋8の計算をします」→「5＋8＝□」の式を書く。
小さい方の「5」に、さくらんぼ図の枝をかく。
②「8はあと2で10」　→枝の右側に「2」を書く。
③「5を2と3に分ける」　→枝の左側に「3」を書く。
④「8に2をたすと10」　→「8」と「2」をバナナ囲み。
バナナ囲みの脇に「10」を書く。
⑤「10と3で13です」　→数を丸囲みする。⑩③。
□に13を書く。

(3)たし算の歌での操作

8はあと	2で10	5から2を	もらいます
さくらんぼを	かきまして	5は2と	3　「1！」
10と	3で	答えは13に	なりました
10と	3で	答えは13に	(休)なりました

(4)20玉そろばんでの操作

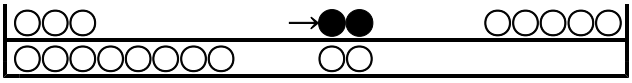
「5＋8の計算」



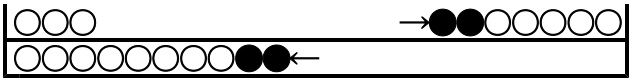
「8はあと2で10」



「5を2と3に分けます」



「こうかん！」
「答えは13です」



11107 ◇第7時の授業 p68

(1)・68ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
(2)・追い読みをします。 ※追い読み
「カードを使って」(同)「ひとりで」(同)「計算の練習をしましょう」(同)「友達と」(同)「問題を出し合いましょう」(同)「友達と」(同)「大きさ比べをしましょう」(同)。
・今日は、ここまでやります。
(3)・1つ目。「1人で計算の練習をしましょう」とあります。
・絵を見ます。
・女の子がたし算カードの山を持っています。
・「6＋7」を見ています。いくつかなと考えて「13」と言いました。
・ウラを見ます。13と書いてあるのであたりです。
・当たったカードは、3＋8がある所に置きます。「あたり」と書く。
・次のカードの山が「7＋7」だとします。いくつかなと考えて「15」。
・ウラを見ます。14と書いてあるのではずれです。
・はずれたカードは、9＋8がある所に置きます。「はずれ」と書く。
・このようにして、カードが無くなるまでやります。
・難しいなと思ったら、20玉そろばんで答えを確かめます。
・カードが全部無くなったら、はずれたカードをまたやります。
・はずれたカードが全部無くなるまでやります。
(4)・たし算カードを出します(カードを出す)。
・カードを山にして置きます。
・始めます。 ※大体が終わったら終了
(5)・2つ目。「友達と問題を出し合いましょう」とあります。
・絵を見ます。男の子と女の子の2人でやっています。
・男の子が「3＋9」のカードを女の子に見せています。
・女の子は「12」と言いました。当たっていますか(あたり)。
・男の子は「あたりです」と言って、あたりの場所に置きます。
・カードの山が無くなったら、交代します。
(6)・ペアになるために、机をくっつけます。
・じゃんけんをして、勝った人が問題を出す係になります。
・始めます。 ※全員が終わったら終了
(7)・3つ目。「大きさくらべをしましょう」とあります。
・女の子と男の子がカードを同時にめくっています。
・女の子のカードは7＋7です。いくつですか(14)。
・男の子のカードは8＋5です。いくつですか(13)。
・女の子と男の子、どちらのカードの答えの方が大きいですか(女の子)。
・だから、女の子が「私の勝ち」と言っています。
・勝ったカードはあたりの場所、負けたカードははずれの場所に置きます。同じ大きさだったら真ん中に置きます。
・カードの山がなくなるまで対戦します。勝ったカードが多い人が勝ちです。
・先生の合図があるまでやります。 ※ペア交代して対戦させる
・20玉そろばんで答えを確かめるのもいいですね。

★ポイント(11107)

(1)1人で計算練習をすることができる。

《手　順》
(1)36枚を１つの山にする。
(2)答えを言う→カードをめくる。
(3)当たりカードは左側，外れカードは右側に置く。
(4)２回目は外れカードだけを言う。

(2)ペアで計算練習をすることができる。

《手　順》
(1)それぞれ18枚を１つの山にする。
(2)じゃんけんで先行を決める。
(3)当たりカードは左側，外れカードは右側に置く。 ※交代する
(4)２回目は外れカードだけを言う。

(3)大きさ比べゲーム

《手　順》
(1)Ａ児Ｂ児,それぞれ18枚のカードをもつ。
(2)お互いに「いちにーのーさん」で同時にカードを出す。
(3)和の大きいカードが勝ち。
「かち」「ひきわけ」「まけ」の場所にカードを置く。
(4)最後に勝ちカードの数を数える。
勝ちカードの数の多い人の勝ち。

11108 ◇第8時の授業 p68, p69

(1)・68ページを開いたら,教科書を持って立ちます。
(2)・追い読みをします。 ※追い読み
「カードを使って」(同)「みんなと」(同)「答えが11になるカードを見つけましょう」(同)「みんなと」(同)「同じ答えのカードを集めましょう」(同)「みんなと」(同)「数の並び方を見て気づいたことを言いましょう」(同)。
・今日は、この3つをやります。
(3)・1つ目。「答えが11になるカードを見つけましょう」とあります。
・下の黒板の絵を見ます。。答えが11になるカードがあります。
・こちら側(左側)の黒板の絵を見ます。
・上からみんなで読みます(5＋6, 4+7, …, 8+8, 2+9)。
・女の子が「まだありそうだよ」と言っています。
・男の子が「順番に並べて」と言っています。
・順番というのは、たし算の前の数が今、5, 4, 6, 9, 3, 8, 2とバラバラになっています。これを小さい方から順番に並べ替えます。
(4)・真ん中の黒板の絵を見ます。
・上からみんなで読みます(2＋9, 3＋8, …, 8+3, 9＋2)。 ※黒板に掲示
・前の数が順番に並びました。
・白くなっているカードが1つだけあります。このカードはまだ見つけていませんでした。何のカードかというのが問題です。
・女の子が「白いカードに入る式は」と言っています。
・男の子が「並び方にはきまりがありそうだよ」と言っています。
(5)・こちら側(右側)の黒板の絵を見ます。
・別の男の子が2人の所に来て、何か教えています。
「前の数が1増えると後ろの数が…」と言っています。
・教室の黒板のカードを見ます。
・前の数は2, 3, 4, 5と、1増えていますね。
・後ろの数はどうなっていますか(9, 8, 7, 6と、1へる)。
・後ろの数は9, 8, 7, 6と、1減っていますね。
・みんなで、男の子の吹き出しの、…を入れて言います
(前の数が1ふえると、後ろの数が1へる)。脇に書きます。
・とすると、この白いカードの式は何ですか(7＋4)。白いカードに書く。
・座っている男の子が言っています。
「見つけたきまりを使うと、9＋2の次は…」。
・何ですか(10＋1)。脇に書きます。
(6)・次のページ。2つ目。「同じ答えのカードを集めましょう」とあります。
・ますりんが言っています「答えが12になるカードを並べているね」。
・上からみんなで読みます(3+9, 4+8, …, 8+4, 9+3)。
・女の子が「11の時より、カードが少ないね」と言っています。
・答えが11になるカードの数を数えます(8つ)。
・答えが12になるカードの数を数えます(7つ)。
・11の時より1枚少ないですね。
(7)・男の子が「12の時も、前の数が1増えると…」と言っています。
・黒板の絵のカードを見ます。
・前の数は2, 3, 4, 5と、1増えていますね。
・後ろの数はどうなっていますか(9, 8, 7, 6と、1へる)。
・後ろの数は9, 8, 7, 6と、1減っていますね。

・みんなで、男の子の吹き出しの、…を入れて言います
(12のときも、前の数が1ふえると、後ろの数が1へる)。脇に書く。
(8)・下の女の子が言っています。「他の数でも同じように並べると」。
・3つ目。「数の並び方を見て気づいたことを言いましょう」とあります。
・下の黒板の絵を見ます。
・一番こちら(左側)の列は、答えが11になるカードですね。
・次の列は答えがいくつになるカードですか(12)。次は(13)。…
・カードが階段のように並んでいます。
・例えばここ(5＋6)の段を横に読みます(5＋6, 5+7, 5+8, 5+9)。
・これは何の仲間か。たし算の前の数が全部何になっていますか(5)。
・このようにして、教科書の並べ方とそっくりに並べます。
・並べ終わったら、先生チェック。
・合格したら、きまりを見つけます。ノートに書きます。
※板書しておく
①たてにみると(　　)。
②よこにみると(　　)。
③ななめにみると(　　)。
(9)・気づいたことを発表します。
(たてにみると答えが全部同じ。前の数が1増えると後ろの数が1へる)。
(よこにみると前の数は同じ数で、後ろの数は1増える)。
(ななめにみると後ろの数は同じ数で、前の数は1増える)。

★ポイント(11108)

(1)きまり見つけ(和が11)

前の数が増えると
後ろの数が減る。

《手　順》
(1)和が(11)のカードを集める。
(2)和が11のカードを順番に並べる。
(3)※早く終わった児童に対して
気がついたことを言います。

(2)きまり見つけ(和が12)

前の数が増えると
後ろの数が減る。

《手　順》
(1)和が(12)のカードを集める。
(2)和が12のカードを順番に並べる。
(3)※早く終わった児童に対して
気がついたことを言います。

(3)きまり見つけ(全体)

縦…前の数が1ずつ増えると
後ろの数が1ずつ減る。
横…前の数は同じ
後ろの数は1ずつ増える。

《手　順》
(1)教科書の絵と同じように，机に
並べる。
(2)先生チェック。
(3)※早く終わった児童に対して
気がついたことを言う。

11109 ◇第9時の授業 p70

(1)・70ページを開いたら，教科書を持って立ちます。
(2)・追い読みをします(△1まで)。　※追い読み→1人読み
(3)・ノートにだんご図(数図)をかきます。
・1行目に「ず」と書きます(ず)。
・9＋6のだんご図をかきます(ず　◎◎◎◎◎　○○○○○)。
◎◎◎◎　○
・9のここが1つ空いています。○の1つを×にして移します。
(ず　◎◎◎◎◎　○○○○○)。
◎◎◎◎○　×
★6の数図が5の数図に変わったことが分かるようにします。
そのために、おしりの○を×にして移します。
・次の行に式を書きます(しき　9＋6＝15)。
※9＋6ノート全員完了
(4)・次は、さくらんぼ図で解きます。
・ノートに「9＋6＝□」と書きます。　※説明台紙掲示
①(　)はあと(　)で10。
②　(　)を(　)と(　)にわけます。
③(　)に　(　)をたして10。
④10と　(　)で，答えは(　)です。
・「9はあと1で10」(同)。「＋」の下に、1マス空けて「1の実」を書く。
・「6を1と5に分けます」(同)。「6のさくらんぼ図」と「5の実」を書く。
・「9に1をたして10」(同)。9と「1の実」をバナナ囲みして「10」と書く。
・「10と5で答えは15です」(同)。丸囲み(⑩⑤)。□に答えの15を書く。
・説明練習をします。
(9はあと1で10。6を1と5に分けます。9に1をたして10。10と5で，
答えは15です)。　※追い読み→全員読み→1人読み
(5)・たし算の歌を歌います。さくらんぼの式を見ながら歌います。
9はあと　1で10　6から1を　もらいます
さくらんぼを　かきまして　6は1と　5　「5！」
10と　5で　答えは15に　なりました
10と　5で　答えは15に　(休)なりました
(6)・20玉そろばんを使って確かめます。
※20玉そろばん操作
(7)・最初に△3をやって、後で△2をやります。
・Ａさん、△3を読んで下さい(読む)。
・ノートに、まず「4＋9＝13」を書きます。　※板書
・答えが13になるたし算はあと5つあります。
・たてに5つ書きます(書く)。
・5つとも埋めた人は、先生チェック。
・合格した人は、ますりんの問題をノートに書きます。
※全員チェック完了
(8)　※△2の9問をプリント化して配布。①は例示する
・全部で9問あります。①のように、さくらんぼにして解きます。
・20玉そろばんを使って確かめてもいいです。
・②を解いたら先生チェック。
・合格したら最後の⑨までやります。　※習熟システム
(9)・スキル6番をやります。　※スキルシステム

★ポイント(11109)

(1)だんご図(数図)で操作する。

・9＋6のだんご図をかきます(ず　◎◎◎◎◎　○○○○○)。
　◎◎◎◎　○

・9のここが1つ空いています。○の1つを×にして移します。
(ず　◎◎◎◎◎　○○○○○)。
　◎◎◎◎○　×

(2)さくらんぼ図で操作する。

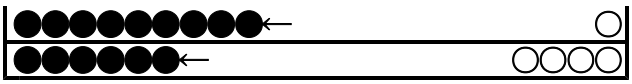
・「9はあと1で10」(同)。「＋」の下に、1マス空けて「1の実」を書く。
・「6を1と5に分けます」(同)。「6のさくらんぼ図」と「5の実」を書く。
・「9に1をたして10」(同)。9と「1の実」をバナナ囲みして「10」と書く。
・「10と5で答えは15です」(同)。丸囲み(⑩⑤)。□に答えの15を書く。

(3)たし算の歌で操作する。

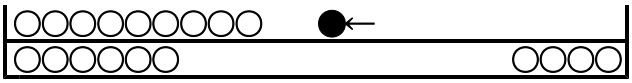
9はあと	1で10	6から1を	もらいます
さくらんぼを	かきまして	6は1と	5　「5！」
10と	5で	答えは15に	なりました
10と	5で	答えは15に	(休)なりました

(4)20玉そろばんで操作する。

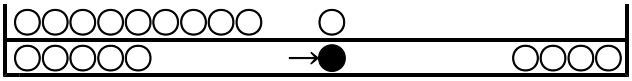
「9＋6の計算」



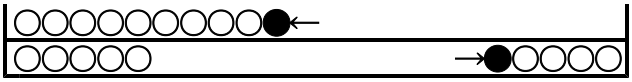
「9はあと1で10」



「6を1と5に分けます」



「こうかん！」
「答えは15です」



(5)和が同じたし算の式の関係を知る。

4＋9＝13
5＋8＝13
6＋7＝13
7＋6＝13
8＋5＝13
9＋4＝13